

棚田通信

NO10 2009.11

NPO法人 恵那市坂折棚田保存会

なごみの里だより

第5回棚田学会賞に輝く！！ 「石積み技術伝承による棚田景観の保全」



今年7月18日、東京日本橋三越劇場において開催された、棚田学会10周年記念大会で、NPO法人恵那市坂折棚田保存会が、第5回棚田学会賞を受賞しました。

受賞理由

棚田百選に認定されている坂折棚田の魅力は、なんといっても石積みの美しさにある。平成15年当地で第9回全国棚田（千枚田）サミットが開催されたのを機に同会（平成20年に「NPO法人恵那市坂折棚田保存会」に組織変更）が結成された。同会は、坂折棚田の保全・伝承のため、地元学校棚田実習、棚田オーナー制度、棚田酒「くろくわ」開発、棚田ビオトープ造成、民間企業の棚田保全活動支援など多彩な活動を実施して大きな成果をあげているが、極め付きは平成18年度から同会と山里文化研究所（市内の里山保全団体）共同実施している「坂折棚田石積み塾」である。応募した塾生が、地元の石工の指導を受けながら、修復が必要な棚田の石積みの一部を壊し、新たに石を積みなおす作業を通じて伝統的な石積み技術を習得する、全国に例を見ないユニークな棚田景観保全ボランティア事業である。

このように同団体は、棚田の保全に資する顕著な業績をあげていると認められるので、ここに棚田学会賞を授与する

さて、石積み塾は、第4回目になり、11月28日～29日に実施されます。受賞を記念して、より一層充実した石積み技術の伝承塾にするよう計画しているところです。

坂折棚田の景観の保全は、石積みであるといっても過言ではありません。今後とも会員の皆様のご支援をお願いします。

なお、この記念大会で棚田学会賞を受賞したところは次のとおりです。

***** 熊本県上益城郡山都町菅地域振興会 *****

自主的な むらづくりで都市住民に「棚田・山里のやすらぎ」を提供

***** 山本 一（日本風景写真家協会副会長） *****

棚田写真集の出版、風景写真家集団への啓発等を通して棚田保全に貢献

『全国棚田サミット』に参加して

恵那市坂折棚田保存会 柘植明人

去る十月十六日～十七日の二日間に渡り、新潟県十日町に於いて、第十五回『全国棚田サミット』が開催された。

私は、今回初めて参加させて頂きました。

十六日は、全体交流会と各棚田の見学会。

十七日は、各別科に別れ、各講師による講演会。講演会は難しい話もあり、自分の勉強を痛感した。

棚田見学会では、星峠地区、蒲生地区を見学したが、それぞれの棚田地区の皆さんに大歓迎して頂き、感謝する次第です。

この棚田を見学させて頂いて、思った事は、私共の中野方坂折棚田に比べて、段差が大きい為に管理が、かなり困難を要するのではないかと感じました。しかし、とてもきれいに管理されて居り、感心させられました。

坂折棚田は、福岡県うきは市の棚田と同じ石積工法で成されています。

機械文化のない中で、工夫がなされ、苦勞された事と察します。

しかし、今棚田が減少し、管理が放棄されて、棚田の荒廢が進む現況を、どの様にくい止め、維持して行くのかを真剣に考え、取り組まなければならないと感じました。

難しく、大変な問題ではあるが。

又棚田と色々の可能性を生み出す、試みをしていく事も大事だと思います。坂折棚田では、たとえば、美しい棚田や里山の景観を、観光資源として活用し、棚田のオーナー制、棚田米をブランド米として販売し、棚田コンサートを開催する等色々と、棚田保存会では行って居ります。

これからもっとアピールをして、棚田と地域振興の取り組み等を進めて行きたいと思っています。

この偉大なる遺産棚田と住民とが、共存共栄して行く道を、次世代に継げる一端を担って、行けたらと願って止みません。

最後に、新潟県十日町市全国棚田サミット実行委員会及び市民の皆様、本当にありがとうございました。



第15回全国棚田サミット開会式



松代棚田のあぜぬり

中野方小学校 体験学習感想文

初めての田植や草取り、稲刈の感想を書いてくれました。

ありがとうございました



たくさんのお米
を収穫できました。
うれしかったです。

【感想文集表紙】

棚田保存会のみなさんへ

私の家には田んぼがないので初めてやってとてもたいへんでした。でも保存会のみなさんは私たちのかわりに多くのていれをしてくれてありがとうございました。しゅうかく祭でおいしく作るのでぜひきてください。写真などもとってもらっていい思い出にもなりました。

(1区 柘植 千尋より)

保存会のみなさんへ

今まで、棚田の稲刈や、苗植え、草取りのやり方をていねいに教えて下さってありがとうございました。保存会のみなさんのおかげで、草取り、苗植え、稲かりが、最初から最後まで一生懸命やりきる事が出来たので良かったです。

収穫祭では、みなさんと一生懸命作ったお米で五平もちを作るので来て下さい。

(三区 伊佐治友梨より)

保存会のみなさんへ

ぼくは、二年間棚田の田植・草取り。稲刈りをやってきて、田植では、たくさんのお米をまげていたので次の日こしがいたくなってしまうました。草取りでは、稲にまじった草を取るの、たいへんでしたね。稲刈りでは一つぶの米でももったいないから一生けん命やりました。今度は一つぶの米ものこさづ食べればいいなと思います。

(七区 澤村 孝弘より)

第3回恵那市「坂折棚田」フォトコンテスト入選者と表彰式

賞	題	撮影者	賞	題	撮影者
最優秀賞	朝陽に映える棚田	横条 鈞	審査員特別賞	棚田を彩る秋	長谷川 均
優秀賞	収穫	高垣 孝史	審査員特別賞	田の神まつり	青木 孝義
優秀賞	坂折盛夏の頃	大矢 信吾	審査員特別賞	準備できましたよ。	吉川 雅憲
優秀賞	田植え	茅野 久	審査員特別賞	魅せられて	大江 雅史
佳作	同級生で参加	川崎 幸雄	審査員特別賞	積雪の朝	市岡 英也
佳作	曲線美	青木 孝義	審査員特別賞	ようこそ坂折へ	浦野 妙子
佳作	家族総出の田植え	市岡 英也	審査員特別賞	くるまだの田植え	高垣 孝史
佳作	灯りてつなぐ棚田	佐合 富春	審査員特別賞	オーナー田植え	川崎 幸雄
審査員特別賞	暮雨の坂折棚田	西村 誠			



最優秀賞作品



表彰式を終えて記念撮影

☀️ オーナー収穫祭盛大に行う ☀️

去る10月24日、オーナー及び保存会員約150名で収穫祭を行い、餅つき、棚田汁、いもこねもち、赤飯、ポン菓子等を皆でつくり食べました。中でも棚田汁は大人気！最後にもち投げを行い楽しい交流会ができました。

オーナーの方は来年も是非参加したいとの声が多かった。



*****お知らせ*****

2010年「棚田の四季」カレンダー好評発売中♪
1部 500円

あとがき いつの間にか紅葉の季節も過ぎ、今年のカレンダーも残り一枚となりました。ようやく棚田通信No.10発行のはこびとなりました。ご一読頂ければ幸いです。

さかおりお茶番処でも薪ストーブを焚きはじめました。12月より、土日みの営業となりますが、煙突から煙が見えたら、是非お立ち寄り下さい。ストーブの上で焼き芋などをしてお待ちしています。

NPO法人恵那市坂折棚田保存会 電話:0573-23-2032 FAX:0573-23-2046 携帯:080-1553-0315

E-mail: sakaori-tanada@ia1.itkeeper.ne.jp